

令和5年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	高齢社会対策推進経費			担当部局庁	政策統括官(政策調整担当)	作成責任者	
事業開始年度	昭和49年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	高齢社会対策担当	企画官 須藤 圭亮	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	高齢社会対策基本法(平成7年法律第129号)			関係する 計画、通知等	高齢社会対策大綱(平成30年2月閣議決定)		
政策	10. 共生社会政策			主要経費	その他の事項経費		
施策	10. 高齢社会対策大綱の作成・推進						
政策体系・評価書URL	https://www8.cao.go.jp/hvouka/h25hvouka/h25iigo/h25iigo-12.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	「高齢者を支える」発想とあわせ、意欲ある高齢者の能力発揮を可能にする社会環境を整えるために、高齢社会の状況を的確に把握するための調査や効果的な啓発事業を実施することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	我が国の高齢化率は29.0%(令和4年10月1日現在)に達しており、今後高齢化はますます進展し、併せて総人口の減少も進むことが見込まれている。こうした中、高齢者の体力的年齢は若くなっており、就業・地域活動のなど何らかの形で社会との関わりを持つことについての意識も高い。65歳以上を一律に「高齢者」と見る一般的な傾向は、現状に照らせばもはや、現実的なものではなくなりつつあり、個々人の意欲・能力に応じた力を発揮できるよう社会環境づくりをしていくため、より多くの高齢者の意識の啓発を図るとともに、地方公共団体や、企業やNPOを含む民間団体等における取組を促していく必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	高齢者の意識や実態、経年変化の状況を把握し、高齢社会対策の企画立案及び評価等に役立てるため、高齢者を対象とした調査研究を実施している。また、高齢社会対策基本法第8条に基づく「高齢社会の状況及び高齢社会対策の実施の状況についての年次報告」として、「高齢社会白書」を作成している。さらに、高齢化が急速に進行する日本で、心豊かで活力ある高齢社会を構築していくためには、NPOやボランティア等地域住民の活力が最大限発揮され、さらには意欲と能力のある高齢者自身が高齢社会の支え手となっていくことが不可欠であるため、高齢者の社会的な活動の促進に向けたイベントの開催や、地域で活躍する高齢者や高齢者グループの活動等の好事例を全国に紹介している。						
事業概要URL	https://www8.cao.go.jp/kourei/index.html						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	64	31	32	32	32
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	64	31	32	32	32		
執行額(G)	56	19	21				
執行率(%) =(G)/(F)	88%	61%	66%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	88%	61%	66%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	共生社会政策費					
	(目)	諸謝金	22	22			
	(目)	庁費	8	8			
	(目)	委員等旅費	1	1			
	(目)	職員旅費	1	1			
		その他					
	計(A)	32	32				

活動内容① (アクティビティ)		高齢社会対策基本法に規定された分野別施策に沿って、高齢者を対象とした調査を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		高齢社会対策総合調査の実施	高齢社会対策総合調査の実 施回数	活動実績	回	1	1	1	-	-
				当初見込み	回	1	1	1	1	1
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) 高齢社会対策総合調査を実施することにより、高齢社会の状況や課題を把握し、その分析結果について、調査実施の翌年度の高齢社会白書へ掲載することを成果目標として設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		高齢社会の状況や課題を的確に把握する調査の実施及び翌年度白書への調査結果の掲載	該当年度内での調査の実施及び翌年度白書への掲載実施回数	成果実績	回	1	1	1	-	
				目標値	回	1	1	1	1	
				達成度	%	100	100	100	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり) 高齢社会対策大綱を踏まえ、5つの施策分野(住宅と生活環境、経済生活、生活と意識に関する国際比較、日常生活・地域社会への参加、健康)について、毎年度1分野ごとに調査を実施し、5年間で5分野の調査が完了することとしており、5か年度で100%となるよう長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		高齢社会対策大綱に基づく5分野の高齢社会の状況や課題を把握	各年度内の調査の実施、報告書の取りまとめ(1年の達成割合を20%とし、5年間で100%を目標とする)	成果実績	%	60	80	100	-	
				目標値	%	60	80	100	100	
				達成度	%	100	100	100	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和5年度 高齢者の住宅と生活環境に関する調査 令和6年度 高齢者の経済生活に関する調査 令和7年度 高齢者の生活と意識に関する国際比較調査 令和8年度 高齢者の日常生活・地域社会への参加に関する調査 令和9年度 高齢者の健康に関する調査								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容② (アクティビティ)		高齢者の社会的な活動について、参考となる事例紹介を行うとともに、学識経験者等の専門家による講演やパネルディスカッションを実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		高齢社会フォーラムの開催	高齢社会フォーラムの開催回数	活動実績	回	1	1	1	-	-
				当初見込み	回	1	1	1	1	1
↓										
成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		高齢社会フォーラムを開催することで、より多くの方が高齢者の社会的な活動について、様々な事例の紹介や、学識経験者等の専門家による基調講演やパネルディスカッションを視聴し、高齢者の社会的な活動に関し広く普及啓発を図ることを目的としているため、高齢者の社会的な活動への関心の高まりを短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		高齢者の社会的な活動への関心の高まり	高齢社会フォーラムの当日参加者数(来場者+オンライン参加者)と事後のオンライン配信の視聴回数の合計数(各年度末まで)	成果実績	回	-	-	-	-	
				目標値	回	-	-	-	3,000	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
↓										
成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		高齢者の社会的な活動に関する普及啓発を図ることで、その活動が促進されるため、社会的な活動を行っている高齢者の割合を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		社会的な活動を行っている高齢者の割合が50%以上	社会的な活動を行っている高齢者の割合	成果実績	%	39.9	50.8	51.6	-	
				目標値	%	40	40	40	50	
				達成度	%	99.8	127	129	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和2年度 高齢者の生活と意識に関する国際比較調査 令和3年度 高齢者の日常生活・地域社会への参加に関する調査 令和4年度 高齢者の健康に関する調査								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

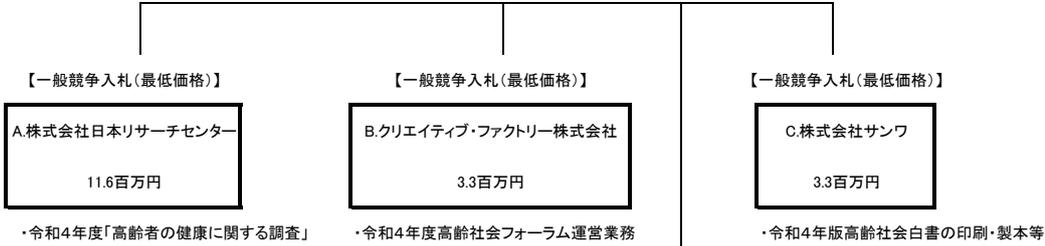
活動内容③ (アクティビティ)		高齢者が社会的な活動を積極的に行っている好事例を収集・選考し、広く周知する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例の表章	エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例表章の実施回数	活動実績	回	1	1	1	-	-
				当初見込み	回	1	1	1	1	1
↓		成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) 「エイジレス・ライフ実践事例」及び「社会参加活動事例」を表章することで、好事例がより広く展開され、高齢者の社会的な活動への関心が高まることを目指しているため、高齢者の社会的な活動への関心の高まりを短期アウトカムとして設定した。 ※目標値については、ページビュー数を把握できるのは平成30年度以降であり、過去5年の平均を算出できるのは令和5年度からであるため、それ以前の年度は「-」としている。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度	
		高齢者の社会的な活動への関心の高まり	各年度において新たにHPIに掲載した事例のページビューの総数(年度末)が過去5年の平均以上	成果実績	PV	4,950	7,102	8,034	-	
				目標値	PV	-	-	-	6,836	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
↓		成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり) 高齢者の社会的な活動に関する普及啓発を図ることで、その活動が促進されるため、社会的な活動を行っている高齢者の割合を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9年度	
		社会的な活動を行っている高齢者の割合が50%以上	社会的な活動を行っている高齢者の割合	成果実績	%	39.9	50.8	51.6	-	
				目標値	%	40	40	40	50	
				達成度	%	99.8	127	129	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和2年度 高齢者の生活と意識に関する国際比較調査 令和3年度 高齢者の日常生活・地域社会への参加に関する調査 令和4年度 高齢者の健康に関する調査								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由 - アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由 -								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定 等	名称	高齢社会対策大綱(平成30年2月16日閣議決定)								
	URL	https://www8.cao.go.jp/kourei/measure/taikou/pdf/p_honbun_h29.pdf								
	該当箇所	P.35「第3 推進体制等」「推進に当たって留意事項」								

事業所管部局による点検・改善	
点検結果	経費削減や事業効率化などを図り予算の効果的・効率的執行に努めた。
改善の方向性	・事業実施に当たり、その手法や効果等について検討し、引き続き事業の見直しを含めた検討を進めるとともに、予算の効果的・効率的執行に努める。 ・調査研究については、調査結果を基礎資料として政策の企画立案や白書の作成に活用するとともに、国民の関心を喚起するよう、ホームページやマスコミを通じた周知に努める。
外部有識者の所見	
点検対象外	
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	
現状通り	引き続き、一者応札の解消に向けた取り組みを行い、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	
現状通り	今後も引き続き公示期間の十分な確保に努めるなど、一者応札の解消に取り組み、効果的・効率的な事業の実施に努めて参りたい。
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ
	上記への対応状況
	その他の指摘事項
	上記への対応状況
	備考
	https://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/kenkyu.html

関連する過去のレビューシートの事業番号												
平成23年度	0128											
平成24年度	0124											
平成25年度	0085											
平成26年度	0081											
平成27年度	0086											
平成28年度	0077											
平成29年度	0082											
平成30年度	0090											
令和元年度	内閣府	-			0100							
令和2年度	内閣府				0101							
令和3年度	2021	府	20		0114							
令和4年度	2022	府	21		0111							

内閣府政策統括官
(政策調整担当)
20.5百万円

(高齢社会対策の企画、社会参加促進事業の実施等)



- ・エイジレス・ライフ及び社会参加活動事例の紹介事業に伴う記念品(楯)の製作
- ・エイジレス・ライフ及び社会参加活動事例の紹介事業に伴う記念品(楯)と書状の梱包
- ・エイジレス・ライフ及び社会参加活動事例の紹介事業に伴う書状の製作等
- ・令和4年版高齢社会白書の梱包発送
- ・高齢社会対策大綱勉強会での速記業務
- ・令和4年版高齢社会白書の概要版英訳業務
- ・令和4年度「エイジレス・ライフ及び社会参加活動事例」の紹介事業に伴う選考委員会
- ・「高齢社会対策大綱勉強会」に関する有識者ヒアリング
- ・高齢者の社会参加の取組視察に伴う委員等旅費
- ・職員旅費

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	用途	金額(百万円)	費目	用途	金額(百万円)
企画設計費	高齢者の健康に関する調査の企画設計	0.1	人件費	令和4年度高齢社会フォーラム運営業務の人件費	0.9
調査準備費	高齢者の健康に関する調査の調査準備	4	制作物	令和4年度高齢社会フォーラム運営業務のチラシ・報告書等作成	0.3
調査実施費	高齢者の健康に関する調査の調査実施	4.3	事業費	令和4年度高齢社会フォーラム運営業務の謝礼金等	2.1
集計分析費	高齢者の健康に関する調査の集計分析	1.3			
報告費	高齢者の健康に関する調査の報告書作成	1.9			
計		11.6	計		3.3
C.			D.		
費目	用途	金額(百万円)	費目	用途	金額(百万円)
印刷製本費	令和4年版高齢社会白書の印刷・製本等	3.3			
計		3.3	計		

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日本リサーチセンター	5010001062587	令和4年度「高齢者の健康に関する調査」	11.6	一般競争契約 (最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	クリエイティブ・ファクトリー株式会社	3011301024114	令和4年度高齢社会フォーラム運営業務	3.3	一般競争契約 (最低価格)	9	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社サンワ	8010001017910	令和4年版高齢社会白書の印刷・製本費	3.3	一般競争契約 (最低価格)	3	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社石井トロフィー	1011501005444	エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例の紹介事業～記念品(楯)の制作	0.6	随意契約(少額)	-	-	
2	朝日梱包株式会社	9010601040880	エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例の紹介事業～記念品(楯)と書状の梱包発送	0.1	随意契約(少額)	-	-	
3	朝日梱包株式会社	9010601040880	令和4年版高齢社会白書の梱包発送	0.1	随意契約(少額)	-	-	
4	銀座セカンドライフ株式会社	7010001119179	諸謝金:令和4年度「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」の事前審査	0.1	その他	-	-	
5	株式会社バイリンガル・グループ	2010001026479	令和4年版高齢社会白書の概要版英訳業務	0.1	随意契約(少額)	-	-	
6	株式会社東京書技房	7010001099719	エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例の紹介事業～書状の製作等	0.1	随意契約(少額)	-	-	
7	扶桑速記印刷株式会社	9010001027784	第2回高齢社会対策大綱勉強会の速記業務	0	一般競争契約 (最低価格)	3	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。
8	扶桑速記印刷株式会社	9010001027784	第1回高齢社会対策大綱勉強会の速記業務	0	一般競争契約 (最低価格)	3	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。
9	株式会社東京書技房	7010001099719	エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例の紹介事業～紙筒	0	随意契約(少額)	-	-	
10	銀座セカンドライフ株式会社	7010001119179	諸謝金:令和4年度「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」選考委員会	0	その他	-	-	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	委員A	-	諸謝金:エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例事前審査	0.1	その他	-	-	
2	委員B	-	諸謝金:エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例事前審査	0.1	その他	-	-	
3	委員C	-	諸謝金:エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例事前審査	0.1	その他	-	-	
4	委員D	-	諸謝金:エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例事前審査	0.1	その他	-	-	
5	職員A	-	職員旅費:出張	0	その他	-	-	
6	職員A	-	職員旅費:出張	0	その他	-	-	
7	職員B	-	職員旅費:出張	0	その他	-	-	
8	職員C	-	委員等旅費:出張	0	その他	-	-	
9	職員D	-	職員旅費:出張	0	その他	-	-	
10	職員B	-	職員旅費:出張	0	その他	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	